

令和5年度 福井市中央卸売市場経営戦略の進捗状況について

I 経営戦略について

- ・令和3年3月に策定及び公表済。計画期間は令和3年度～12年度の10年間。
- ・「魅力的な市場」及び「機能的な市場」を2つの柱とし、6つの基本目標を設定。28の取組を行う。
- ・令和7年度頃を目途に中間検証を行い、これまでの取り組みの進捗状況や課題の検証を実施予定。
- ・福井市中央卸売市場運営協議会において年度ごとの進捗管理を行う。

II 令和5年度 取組状況等

- ・ふくい鮮いちば実行委員会が、テレビCMの作成やInstagramによるフォトコンテストを実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられたことにより、行動制限がなくなり、ふくい鮮いちばでは、昨年度よりも多くイベントを開催した。また、10月には4年ぶりにふくい市場フェスタを実施した。

(1) 魅力的な市場

ア 食の安全安心への対応

〈取組評価〉
 A：計画以上の取組を行い大きな成果をあげているもの
 B：計画通りの取組を行い一定の成果を上げているもの
 C：取組が不十分、又は次年度以降の取組となるもの

取組内容	取組状況等	取組評価	
		R4	R5
○衛生管理の徹底			
1 衛生検査機関等との連携による食品の安全性向上	市保健所による立入検査の実施(随時) 県食品衛生協会による食品衛生講習会の実施	B	B
2 市場内衛生環境の保全	放鷹によるドバトの追払い業務及びカラスの追払い業務の実施(年間24回) 鳥の巣を発見次第、除去を実施	B	B
○商品の品質管理体制の充実			
3 食品検査の強化	残留農薬検査、細菌検査を実施(年3回18品目、全て異常なし)し、結果を公表 食品表示法に基づく立入調査の実施(随時) 量目検査の実施(年6回 訂正率:5.17%)	B	B
○危機管理体制の確立			
4 危機事象への対応	花卉棟において消防訓練を実施(R5.10) 危険食品対応マニュアルの作成(R5.12)	A	A

イ 環境負荷が少ない市場の実現

取組内容	取組状況等	取組評価	
		R4	R5
○リサイクルの推進			
5 資源物のリサイクルによる廃棄物の削減	場内で発生したゴミの分別の徹底 リサイクル率※ 75.8% (1,513t÷1,995t)	A	A

○省エネルギーの推進			
6	省エネ設備への切り替えによる電気使用量の削減	老朽化した照明器具の更新時にLED照明器具に交換(卸売棟外灯:1台、福井青果事務所:6台、市場冷蔵:3台、関連棟店舗:2台、管理事務所:3台 計15台) 電気使用量:550万kWh 増加の理由:猛暑による使用電力増等	B B
○社会的な環境活動への貢献			
7	環境活動への参加・支援	福井中央市場青果卸売協同組合青年部による場内及び市場周辺道路の清掃活動(R5.4) 市場内敷地を灯明寺中学校資源回収の集積場として提供し、環境活動に協力(R5.10) 食品ロス削減のため、一部水産物仲卸業者が冷凍食品をこども食堂に提供(R5.8、R6.1)	A A
8	脱炭素社会を目指す活動への参加	市場内のフォークリフト電動化やトラックのEV化に係る情報収集継続中	C C

※ (パレット+発泡スチロール+段ボール+廃プラ・金属くず等+魚腸骨)÷総排出ごみ量

ウ 市民に開かれた市場の実現

取組内容	取組状況等	取組評価	
		R4	R5
○ふくい鮮いちばの充実			
9 ふくい鮮いちばの店舗の充実	新規1店舗	B	B
10 ふくい鮮いちばの集客力強化	イベントを13回開催 市場協会と協力し、正面ゲートの塗装や案内看板の改修を実施 団体客の食事場所を整備し、ふくい鮮いちば実行委員会が、北陸DCやはぴバスの旅行ツアーに売り込み 道の駅「一乗谷あさくら水の駅」や南条SA下りにポスターを掲示	A	A
○卸売市場の機能・役割の周知			
11 市場見学、市場開放イベントの開催	学校等の市場見学(33団体、1,064人) 親子市場見学(3回、30組86人) 市場フェスタ開催(3,705人)(R5.10)	B	A
12 メディア、インターネット等を活用した情報発信	「Facebook」「市場HP」等で情報の発信(R5:96回) ふくい鮮いちば実行委員会が、テレビCMの作成やInstagramによるフォトコンテストを実施 各種行事について報道機関に情報提供し、TVや新聞等で市場をPR	B	A

○地域交流活動への支援				
13	地域ふれあい広場の活用	一般開放の実施：3月～11月（8:30～17:00） （こども園の園外活動、スポーツ団体の練習での利用。R5:延べ5団体、240人）	B	B

(2) 機能的な市場

ア 中央卸売市場の機能維持

取組内容		取組状況等	取組評価	
			R4	R5
○公共性の担保				
14	市場の公正性・公平性の担保	公認会計士による財務検査の継続 検査対象業者 卸1、仲卸等7、計8社 検査実施期間 R5.9～R6.3（講評等含む） 卸売業者への業務検査の実施 検査対象卸売業者 水産物部 検査実施期間 R5.9～R6.3	A	A
○経営改善支援策の充実				
15	経営基盤強化の推進	経営セミナーの開催（「つながる北陸」新幹線の開業効果を高めるためには）（R6.3）14団体参加 財務検査結果に基づく指導	B	B
16	事業連携の推進	一部青果仲卸業者で共同配送を実施。引き続き共同配送・共同加工等の事業連携事例の調査及び情報収集継続	B	B
○市場運営の効率化				
17	事務手続等の見直し	各卸売業者販売データ公表作業の自動化	A	A
○市場の経営戦略の確立				
18	経営戦略の検証及び見直し	今年度の進捗状況を報告（R6.3）	B	B
19	取引ルールについての検証	各部取引委員会での聞取り（改正意見なし）	B	B

イ 物流の効率化、販売力の強化

取組内容		取組状況等	取組評価	
			R4	R5
○市場ブランドの構築				
20	量販店等への販売力強化	水産物卸売業者が北陸新幹線福井開業記念ブースを設置し、商品展示会を開催（R5.9） 啓新高等学校調理科の生徒が低利用魚を活用した加工品やレシピを提案し、市場内業者らが協力して商品化に取り組み、市場で完成披露（R5.10）	B	B

21	近海今朝とれ市のブランド化の推進	親子市場見学（3回、30組86人）で一般市民（消費者）が実際のせりを見学	B	B
○産地との連携				
22	産地との連携による集荷力の強化	優良出荷者の表彰 青果部3社	B	B
23	地場製品のPR	地場製品の情報発信 ふくい鮮いちばで「ふくいサーモン祭」をはじめとする各種イベントの開催 地場産品初せり等の情報発信（スイカ R5.6、梨 R5.6、柿 R5.10、ズワイガニ R5.11 など）	B	B
○実需者ニーズへの対応				
24	加工設備の充実	飲食店のニーズに合わせた加工を実施 関連事業者が加工設備を更新	B	B

ウ 施設の長寿命化と有効活用

取組内容		取組状況等	取組評価	
			R4	R5
○施設の計画的な改修				
25	設備の改修	自動火災報知設備更新工事（R5.10完了） 低温売場冷凍機更新工事（R6.2完了）	B	B
26	建物の長寿命化	卸売棟屋上改修工事（R5.12完了） 建物不具合箇所の修繕を実施（随時）	B	B
○既存施設の有効活用				
27	卸売棟や関連商品売場棟の空小間の解消	卸売棟 増減なし 関連商品売場棟 空き4小間減少 管理棟 増減なし	B	B
28	余裕敷地の有効活用	余裕敷地をH29.3.31から観光バス駐車場として活用（R5延べ利用台数34台）	B	B

III まとめ

経営戦略における28の取組内容のうち、令和5年度の評価としては、

A：8、B：19、C：1

となっている（A評価 R4:6→R5:8）。今後も各取組評価が上がるよう引き続き推進を図っていく。